



2022年度の投資家との対話実績

①面談件数

・国内および海外機関投資家別の面談件数

	2020年度	2021年度	2022年度
国内機関投資家	14	21	29
海外機関投資家	11	11	13
合計	25	32	42

・対応者毎の面談件数

	2020年度	2021年度	2022年度
代表取締役社長	11	13	6
社外取締役	2	1	9
SR広報部担当執行役員	0	13	16

②決算説明会の開催（オンライン）

	当社対応者	参加投資家数	英語
期末決算説明会 (決算日から4営業日後に開催)	代表取締役社長 他	13	説明会後に動画配信
中間決算説明会 (決算日から1営業日後に開催)	SR広報部担当執行役員 他	16	説明会後に動画配信

※2022年度より新たに中間決算説明会を実施

③対話の主なテーマおよび株主の関心事項

- 当社グループの主力事業であるケミカルタンカーに関する一般的事項、海運市況の実績および見通し
- 保有オフィスビルの空室率や、今後の国内外の不動産投資への考え方について
- 当社の強みについて
- 環境・社会の取り組み状況（環境：気候変動への対応、社会：人的資本、人権尊重への取り組み、多様性）
- 2022年6月総会で更新した買収防衛策の導入意義について
- 政策保有株式の縮減について

④経営陣へのフィードバックの実施状況

	頻度	方法
投資家との面談における質疑応答の内容	都度	メールで報告
投資家との面談における質疑応答の内容（抜粋）	年3回	取締役会で報告
決算説明会の参加者からのコメント	年2回+α	取締役会で報告（2023年度より）

⑤情報開示の充実/その他の取り組み推進

投資家および株主の意見などを考慮し情報開示を充実させております。★は投資家からの意見をもとに取り入れた主な内容になります。

情報開示の充実

- ・月に1度海運市況の開示（2022年7月より） ★
⇒市況の影響を受けるケミカルタンカー／大型ガス（LPG）船／ドライバルク船の市況グラフを毎月公表
- ・期末決算説明会に加えて中間決算説明会を新たに実施（2022年11月より） ★
- ・機関投資家向けリサーチレポートを年1回から年2回発行に拡充
- ・決算補足資料の内容充実
⇒ESGに関する取組みを充実化、大型ガス（LPG）船市況見通しの定性的情報の追加 など
- ・コーポレート・ガバナンスに関する報告書の英訳版公表（2022年11月より）
- ・専門紙などに掲載された社長インタビューを当社HPのニュースリリースに掲載（2022年4月より）
⇒一般公開されていない社長インタビューを掲載し、経営トップの考えをステークホルダーに周知

その他の取り組み推進

- ・取締役の任期を2年から1年に短縮 ★

以上